

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000075"/> 整理番号 <input type="text" value="11610"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="振盪式高速向流クロマトグラフ装置"/>
技術分野	<input type="text" value="機械・加工"/> <input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="食品・バイオ"/>
適用製品	<input type="text" value="天然物由来の生理活性物質、タンパク質や糖類などの生体内高分子物質、有機合成"/>
目 的	<input type="text" value="物質の分離・精製に対し、分離効率の優れた液-液分配クロマトグラフィーを提供する。"/> <input type="text" value="特に、固定相に充填剤を用いるクロマトグラフィーを使用することで、変性、吸着してしまう物質や有機溶媒の使用で生理活性が損失してしまう物質の分離に有効である。"/>
技術概要	<input type="text" value="本発明はテフロンチューブをコイル状に巻き付けて作製したカラムが水平方向に惑星運動しながら更に垂直方向に振盪運動する高速向流クロマトグラフ装置である。"/> <input type="text" value="従来の高速向流クロマトグラフ装置はカラムが横に自転しながら更に同じ方向に公転するため、力学的な物理量は水平方向にしか作用していない。そこで、垂直方向への振盪運動を加え、新たな力野を構成させることでカラム内の二液相の攪拌を促進させ、分離効率の向上を図った。振盪運動はカラム下部に端面カムを設置することで達成できた。カラムはメーゴーランド様の回転運動を行うが、端面カムの形状を変化させることで、多様な振盪運動を与えることができる。"/> <input type="text" value="本装置は、有機溶媒-水系二相溶媒のほか水性二相溶媒も使用できるため、疎水性の高い物質から親水性の高い物質まで幅広い範囲で分離・精製に利用できることが期待される。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp